

# よみうりカルチャー OSAKA

大阪よみうり文化センター



スマホでお申し込み 視聴もできます

2次元コードの付いた講座のお申し込みはスマホからできます。紙面にある2次元コードからホームページにアクセスし、お申し込みください。オンライン講座は、スマホやPCでご覧いただけます。事前に視聴方法の詳細手順をお知らせします。

鹿島建設 presents  
火星に住もう! Season3

各回1000円

教室 オンデマンド

協賛 鹿島建設



©NASA

宇宙開発は官民を問わず盛んになり、民間企業も月、火星への探査を目指すほどです。人類にとって、活動圏を宇宙に拡大し、宇宙での活動拠点や社会を構築することは重要なテーマです。講座では、日本人で初めて宇宙での船外活動を行った宇宙飛行士の土井隆雄さん



＝写真＝や、京都大学の「SIC有人宇宙学研究所」で活躍する研究者らが、人類の宇宙進出に向けた研究開発や課題について紹介します。  
▽4月16日「有人宇宙活動」土井隆雄・京都大学大学院総合生存学館特定教授、宇宙飛行士▽5月14日「火星に必要なコアバイオーム(核生生態系)

とは？」山敷庸亮・京都大学大学院総合生存学館教授、SIC有人宇宙学研究所長▽6月18日「宇宙飛行士を宇宙線被ばくから適切に護る～有人火星探査の被ばくリスクはどのくらい?～」佐藤達彦・日本原子力研究開発機構(JAEA)研究フェロー、大阪大学核物理研究所特任教授▽7月9日「たかが木材、されど木材～どうなる? 木造人工衛星～」仲村匡司・京都大学大学院農学研究科教授▽8月20日「宇宙居住のための人工重力施設研究」大野琢也・鹿島建設 技術研究所 上席研究員▽9月3日「月そして火星での長期的活動に向けて」稲富裕光・宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所教授＝オンライン出演＝。ファシリテーター 山敷庸亮氏。  
いずれも日曜午後1時～2時30分、読売京都ビル4階会議室(京都市中京区烏丸通六角下)。



有栖川有栖ミステリー倶楽部  
英国庭園の謎  
MANANTO

有栖川有栖ミステリー倶楽部  
「英国庭園の謎」

オンデマンド

配信期間 3月24日(金)～6月30日(金)  
受講料3300円

どなかで美しい英国式庭園で催された宝探しゲームのさなか、資産家が殺害された。残されたのは宝のありかを示す暗号と死の謎……。フェアでロジカルな推理を楽しむ本格ミステリーの魅力が詰まったオンライン講座「有栖川有栖ミステリー倶楽部」の第2弾は、暗号解読の醍醐味が楽しめる傑作「英国庭園の謎」。劇団P・T企画のミステリー劇、有栖川有栖さん本人による作品解説と古今東西の暗号ミステリーの講義など、この講座でしか体験することができない、初心者から上級者まで楽しめる内容です。



(学ントHP)

申し込み ▶ 06・6361・3325  
(平日午前10時～午後5時)  
オンラインは、2次元コードからも申し込みできます。

## 宇宙・屏風絵 わくわく

～ぞっとするほど美しい～  
天才絵師・絵金の魅力

オンデマンド

2000円。配信は6月18日まで(受け付け締め切りは6月16日)

高知県香南市赤岡町には2005年、絵金の作品を保存公開する「絵金蔵」が建てられました。同市で地元の芸術や文化、技術を情報発信する創造広場「アクトランド」学芸員の横田恵さんが、絵金の個性や作風、魅力をお話します。

幕末土佐の天才絵師・絵金

幕末の土佐に生まれた絵師・金蔵(1812～76年)は、髪結いの息子から21歳の若さで土佐藩家老の桐間家お抱えとなりながら、当時江戸で人気だった浮世絵師・狩野探幽の贗作を描いた疑いで身分を剥奪、城下を追放され、放浪の果てに土佐・赤岡(現在の高知県香南市赤岡町)にたどりつきます。この地で、町絵師として活躍した金蔵が得意としたのは、斬られた人の血しぶきが舞う場面や、赤子を連れ去る大鷲など、見る人が怖じ気づくほどの芝居の瞬間を切り取り、色鮮やかに描いた屏風絵でした。ただ、その迫力と、恐ろしいだけではない高い技巧は人々を魅了し、金蔵は「絵金」の名で、土佐の民衆の間に広く知られるようになります。

よみうりカルチャー大阪は、あべのハルカス美術館(大阪市阿倍野区)で開かれる展覧会「幕末土佐の天才絵師 絵金」(4月22日～6月18日)開催を記念し、絵金の魅力を紹介する「オンライン(オンデマンド)」「絵金講談」「夜間特別貸し切り鑑賞会」の三つの特別講座を開催します。

恐るべき迫力の技巧



浮世柄比翼稲妻 鈴ヶ森 二曲一隻屏風・紙本彩色(香南市赤岡町本町一区蔵) ※前期展示(4月22日～5月21日)

玉鋼が生み出す日本刀の美  
～たたら製鉄から日本刀が出来るまで～

教室 オンデマンド

教室 1万1500円  
オンデマンド 6600円(いずれも3回)

美術工芸品として世界から注目を集める「日本刀」。日本古代から続く「たたら製鉄」で生み出された「玉鋼」とは? 刀剣商「岩本商店」阪急うめだ店長の岩本典久さんを進行役に、800年の伝統を現代に受け継ぐ月山日本刀鍛錬道場の月山貞直刀匠＝写真右



撮影 トム岸田

＝、三上貞直日本刀鍛錬道場の三上貞直刀匠＝同左＝が解説します。毎回古刀、新刀の展示もあります。  
▽5月27日(土)「日本刀の原料玉鋼とは?」



たたら製鉄について」三上貞直刀匠▽6月17日(土)「玉鋼から日本刀をつくる、日本刀はどのようにつくられるか」月山貞直刀匠▽7月2日(日)「月山鍛刀場見学と実演(奈良県桜井市)」5、6月はいずれも午後1時30分～2時40分、読売大阪ビル内(大阪市北区野崎町5の9)。

二年熟成生ハムと無添加ウィナー付き  
こだわりの製法から選び方まで 教えて、マイスタリン!

ライブ オンデマンド

受講料4360円(生ハム・ウィナー代込み)

鹿児島県・大隅半島で希少性の高い南州黒豚を育てる「南州農場」のマイスタリン(女性マイスター)、小林良子さんに学びます。小林さんは、ドイツで最高峰の国家資格を持つ「食肉加工のプロ」。ドイツの香辛料添加物の会社で働いたのち帰郷、南州農場に参画し、経験と知識を深めました。

講座では、黒豚モモ肉と天然塩だけを使用した「黒豚二年熟成生ハム」と



「ノンアッド・ウィナー」をお届け。こだわりの製法だけでなく、食品選びのコツも聞きます。  
3月24日(金)午後7時～8時30分。

WEB×現地で学ぶ「徳川家康」  
～戦国の世を終わらせた、多くの武将の人心を掌握した天下人～

オンデマンド 現地

配信期間 3月27日(月)～5月31日(水)、受講料1650円 現地講座 各回3520円

三河の大名「松平家」の跡取りとして生まれた竹千代(後の徳川家康)は、幼き日々を「織田家」「今川家」の人質として、苦難の道を歩みながら成長していきます。青年期には、桶狭間の戦いや金ヶ崎の退き口、三方ヶ原の戦い、そして晩年には、関ヶ原の合戦や大坂の陣と天下太平への道を進んでいきました。仏像ソムリエの小嶋一郎さん＝写真＝を講師に迎え、オンデマンド講座と現地で家康の実像

に迫ります。秋にはWEB、現地とも続編を予定しています。  
オンデマンド「揺れる戦国大名～家康の妻子達」  
現地講座 4月26日(水)日光東照宮再建の基となった日吉東照宮と坂本の町並み(大津市)▽5月30日(火)東照大権現(家康)の墓がある圓光寺、詩仙堂(京都市)。いずれも午後1時～5時。



「絵金」の生涯  
創作講談で

講談師・玉田玉秀齋の「絵金講談」が、謎に包まれた絵金の生涯を題材に創作した「絵金講談」を展覧会場で披露します。展覧会も自由に鑑賞できます。

5月3日(水・祝)午後5時～8時、あべのハルカス美術館。4000円(ノベルティグッズ付き)。定員50人。



「絵金展」夜間特別貸し切り鑑賞会(解説付き)  
あべのハルカス美術館上席学芸員の藤村忠範さんが、絵金展の見どころなどを解説します。閉館後の時間は、貸し切りで展覧会を鑑賞できます。

5月20日または、27日のいずれも土曜午後5時～8時。あべのハルカス美術館。各回2800円(展覧会チケット、ノベルティグッズ付き)。定員各50人。

心理学も学べる「濱口善幸のタロット」  
よみうり文化センター(松竹芸能)の弟で、現役タロット占い師の濱口善幸さん＝写真＝によるタロット講座です。タロットカード占いはだけでなく、日常のコミュニケーションでも活用できる心理学も合わせた内容です。



4月22日から9月23日までの第4土曜午後1時30分～3時30分。よみうり神戸ホール(神戸市中央区栄町通1の2の10、読売神戸ビル2階)。6回2万1780円。猫のコンパスタロット28860円。  
刀の日本史、刀剣マスター 未兼俊彦が解説、刀の歴史と社会の密接な関わりを関西の事例を中心に解説していきます。初めて日本刀について学ぶという方にもうってつけの基礎知識編です。講師は京都国立博物館主任研究員の末兼俊彦さん＝写真＝。  
4月22日、5月27日、6月24日のいずれも土曜午前11時～午後0時30分。よみうり神戸ホール(神戸市中央区栄町通1の2の10、読売神戸ビル2階)。3回1万8900円。

本部 読売新聞大阪本社内  
06-6361-3325

受付時間 ■電話 ▶ 月～金の午前10時～午後5時(土日祝休み) ■ファクス(06-6361-3327) ■メール(honbu@oybc.co.jp)

高槻 松坂屋高槻店6階  
072-681-8218

受付時間 ■電話 ▶ 月～土の午前10時～午後8時 ▶ 日曜午前10時～午後6時 ■メール(takatuki@oybc.co.jp)

・講座によっては校費などが必要な場合もあります。  
・希望者が一定数に達しない講座は開設を見送ることがあります。

# 信長の弟にして大名茶人

■非公開・特別見学  
建仁寺塔頭 正伝永源院  
「茶人・武将としての有楽斎」



茶室「如庵」

織田有楽斎(よしかず)は、1547〜1622年、武將として名を馳せる一方、本能寺の変(1582年)前後から本格的に茶人として活動。千利休とも交流を持ち「茶道・有楽斎」を創始した。京都文化博物館では四百年追憶記念特別展「大名茶人 織田有楽斎」(4月22日〜6月25日)が開かれます。展覧会にちなみ、有楽斎が再興した京都・建仁寺の塔頭正伝院(現正伝永源院)に建立された茶室「如庵」(愛知県犬山市に移築された国宝の茶室を復元)などの特別見学を開催します。

「如庵」は数寄屋建築の第一人者中村昌生氏の監修のもと、千家十職・永楽善五郎氏らの援助により、1996年(平成8年)に復元されました。見学会では、正伝永源院の真神啓仁住職(写真右)と、天理大学文学部准教授の天野忠幸(写真左)が、「茶人」「武将」の両側面から有楽斎の人物像を語ります。対談後、「如庵」や武野紹鷗の供養塔などを見学、早茶も予定しています。

5月21日(日)午前10時〜正午、午後1時〜3時。建仁寺塔頭 正伝永源院(京都市東山区小松町586)。各回8000円(展覧会チケット、早茶付き)。

5月21日(日)午前10時〜正午、午後1時〜3時。建仁寺塔頭 正伝永源院(京都市東山区小松町586)。各回8000円(展覧会チケット、早茶付き)。

■徳川家康ゆかりの地を歩く  
「天下人の城、伏見城」



伏見城の大手門を移築した御香宮神社表門

伏見城は指月伏見城と木幡山伏見城の2か所ありました。指月伏見城は当初、豊臣秀吉の隠居所として建設されましたが、慶長地震で倒壊し、木幡山に新たな城郭を築きました。秀吉の死後、木幡山伏見城には徳川家康が五大老の筆頭として入り、慶長8年(1603年)にここで征夷大将軍補任の宣下を受けました。城郭は現在、明治天皇の陵墓となっており、城跡には立ち入ることが出来ません。元大阪城天守閣館長・松尾信裕さんの案内で、御香宮神社に移築した伏見城の大手門をはじめ様々な歴史の舞台となった伏見の城下町を歩きます。

## 和洋建築の競演 楽しむ



ゴスペル(GOSPEL)

■ヴォーリス建築見学とランチとお花見散策  
琵琶湖疏水に植えられた桜が咲き始める時期、ヴォーリス建築見学とお花見散策を楽しみます。1927年(昭和2年)にワイリアム・メレル・ヴォーリスによって建てられた駒井邸は、ヴォーリス建築の特徴を大まかに残している文化財建築です。ランチ会場の「ゴスペル(GOSPEL)」は、82年(同57年)に一粒社ヴォーリス建築事務所設計で建てられた洋館で、現在はカフェとして利用されています。3月28日(火)午前9時45分に叡山電車茶山駅に集合、午後1時頃解散、6450円(資料、イヤホンガイド、ランチ代含む)。

4月18日(火)午後1時に近鉄丹波橋駅前集合、4時頃解散。3520円(資料、イヤホンガイド代含む)。

## 現地探訪で見つける

よみうりカルチャー OSAKA  
大阪よみうり文化センター

# 歴史にふれる春

■京都・社寺にゆくりお参り&旬御膳

フリー編集者で奈良市観光大使の倉橋みどりさん(写真)の案内で、観光とは一味違う社寺巡りをしたあと、話題のお店でランチをいただきます。

▽4月18日  
●興聖寺(京都府宇治市)  
●京弁当(5月16日)上高野・蓮華寺(京都市左京区)と中国料理(6月20日)鷹峯・源光庵(京都市北区)と京料理(6月は11時30分)集合、



6月・しよせりソート京都京料理「紙屋川の和楽膳」

■京の女将さんシリーズ第23弾  
お茶屋兼置屋花傳女将

京の女将さんシリーズ第23弾「お茶屋兼置屋花傳女将」は、京の老舗茶屋「宮川町」の女将さん(写真)の案内で、お茶屋の歴史や文化、舞妓の歴史や文化、舞妓の衣装の話を聴いてみませんか。地方の三味線の音色に合わせて舞妓小唄さん(写真)が舞を披露します。仕出し店「瓢箪」の松花



5月20日(土)午後0時30分〜2時30分、お茶屋兼置屋「花傳」(京都市東山区宮川筋318)。2万1000円(昼食、飲料代含む)。

■新選組「幻の屯所」跡・西本願寺を巡る

不動堂村屯所(西九条村屯所)は「幻の屯所」と言われてきましたが、2019年ようやくその場所が確定されました。確定した経緯を霊山歴史館学芸課長の木村武仁さんが解説します。また、不動堂明王院や西本願寺屯所跡、太鼓楼



西本願寺太鼓楼

寺田屋襲撃事件で坂本龍馬が逃走したルートを再現しながら、寺田屋(中庭のみ)、伏見土佐藩邸跡、龍馬が隠れた材木小屋跡、伏見寺田屋殉難九烈士の墓がある大黒寺、寺田屋お登勢の墓がある松林院、薩摩島津伏見屋敷跡などを巡ります。



坂本龍馬の肖像画(霊山歴史館蔵)

5月14日(日)午前10時30分に京阪中書島駅前集合、午後1時頃解散。3520円(資料、イヤホンガイド代含む)。

■高槻

徳川家康への新視点「ポスト雄略から継体王朝の時代へ」  
「倭の五王」時代を終えて、5世紀末〜6世紀の倭国王権は、新たな勢力を誇った葛城氏や吉備氏などが没落し、息長氏、大伴氏、物部氏、蘇我氏などが王権の新しい支配機構の中に食い込んでいきます。古事記、日本書紀などの文献から復元された当時の歴史を、考古学や東アジア史からの視点で交えて見ます。講師は元読売新聞編集委員の坪井恒彦さん(写真)です。



4月10日「葛城氏系の清寧政権を支えた飯豊女帝」▽5月8日「顕宗即位のナゾと仁賢政権の実像」▽6月12日「大伴金村によって擁立された武烈の政権」▽7月10日「息長氏勢力をバックに大和入りした継体政権」▽7月31日「辛亥の変」の裏面が問われる安閑・宣化政権▽9月11日「任那復興を狙う欽明の軍事組織」日本府。いずれも日曜午前10時30分〜正午。1万9140円(6回分、資料代含む)。

手持ちの帯を切らずに6か所を糸で留めるだけ、1回で簡単に作れます。手早く着付けのコツもお教えします。講師は和装文化代表の桑山奈津子さん(写真)です。

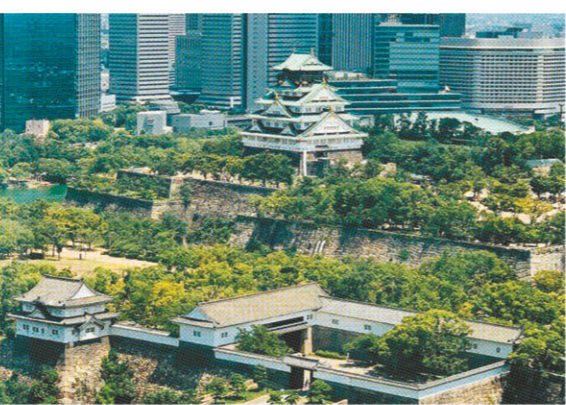
4月10日、5月8日、6月12日のいずれも日曜午後1時〜4時30分。1回4180円(教材費含む)。

文字に笑顔を書き入れた墨文字で、形・書体にとらわらず自由な発想で、個性豊かな作品を描きましよう。はがきに描いたり、色紙に描いてインテリアにしたり、いろいろに楽しめたい。愉快な笑いの絶えない教室です。講師は詩書家のやまだとしおさん(写真)です。

4月曜午後1時〜3時。3か月(体験)3月27日または4月24日のいずれも日曜同時開講、1430円。

4月16日「庶民や外国人から見た幕末・明治維新 神戸事件や堺事件」▽5月21日「幕末と明治維新の五代友厚」▽6月18日「岩倉具視と王政復古の大号令」▽7月16日「岡田以蔵と天誅事件」▽8月20日「来航170年 ペリー来航の真実」▽9月17日「勝海舟 その驚きの前半生」。いずれも日曜午後1時30分〜3時。1万9140円(6回分、資料代含む)。

## 天下人の城／開国の謎



徳川家が再建した大阪城

徳川家康と畿内・近国の城  
徳川家康の城といえは、岡崎城、浜松城、江戸城など、東日本のイメージが強いですが、畿内・近国でも個性豊かな城を築造しています。さらには家康の来援を期待して龍城した丹波の国衆、豊臣秀吉から継承した伏見城など、多様な城の歴史から徳川政権に翻弄された人々を考えていきます。次世代の秀忠、家光までの畿内政策も見通します。講師は城郭談話会会員の福島克彦さん(写真)です。

4月2日「対秀吉政策と畿内・近国の山城 黒井城と余田城」▽5月7日「豊臣政権からの継承 伏見城」▽6月4日「家康と京都 城郭新編」▽7月2日「城郭公役普請 亀山城と篠山城」▽8月6日「大坂の陣」▽9月3日「家康以後の新築築城 淀城と神足館」。いずれも日曜午後1時30分〜3時。1万9800円(6回分、資料代含む)。

幕末の謎と実像に迫る  
幕末の動乱や明治維新から150年以上が経過し、それらを再検証しようという動きが活発になっています。霊山歴史館学芸課長の木村武仁さんの解説で、幕末維新に活躍した偉人や事件を取り上げ、謎の多い幕末の真実に迫ります。

4月16日「庶民や外国人から見た幕末・明治維新 神戸事件や堺事件」▽5月21日「幕末と明治維新の五代友厚」▽6月18日「岩倉具視と王政復古の大号令」▽7月16日「岡田以蔵と天誅事件」▽8月20日「来航170年 ペリー来航の真実」▽9月17日「勝海舟 その驚きの前半生」。いずれも日曜午後1時30分〜3時。1万9140円(6回分、資料代含む)。

4月27日「マイカレット」▽5月25日「紫陽花」▽6月22日「丸ガリア」。いずれも木曜午前10時30分〜午後0時30分。1万4190円(3回分、教材費含む)。

■古文書・古記録から読み解く幕末日本④  
武市半平太や坂本龍馬ら幕末の士佐藩の人びとに光を当て、彼らが書いた手紙や日記を読み、その想いを理解することも、幕末日本について今一度考えてみましょう。講師は京都産業大学文化学部准教授の笹部昌利さん(写真)です。

4月15日「土佐勤王 龍馬の結成」▽5月27日「吉田東洋暗殺」▽7月22日「勝海舟が書いた龍馬像」▽7月19日「京における武市半平太の政治的位置」▽9月30日「武闘派 乾退助」。いずれも土曜午後3時30分〜5時。1万7160円(6回分、資料代含む)。

信仰と美術、そして人物に焦点を当てながら、信仰と美術、そしてその向こうにある人のいとなみについて、帝塚山大学客員教授の西山厚さん(写真)が分かりやすく話します。

4月19日「世界遺産 産元興寺1400年の歴史」▽5月17日「楽しい! 信貴山縁起絵巻」▽6月21日「香りと仏教」▽7月19日「南山城の寺々を訪ねて」▽8月30日「忍性と鎌倉」▽9月20日「長谷寺へ」。いずれも水曜午前10時30分〜正午。1万8480円(6回分、資料代含む)。

お灸と温活(ツツ)で体質改善  
東洋医学の陰陽五行をもとに、冷えや不眠、耳鳴り、膝痛などの様々な不調を、お灸や温活を実践しながら、血流や代謝の体質改善をめざします。講師はフィジカルセラピストの秋長佳子さん(写真)です。

4月25日、5月23日、6月27日のいずれも火曜午前11時〜午後0時30分。9900円(3回分、教材費含む)。

古典型的なつまみ方をアレンジした、つつき流の技法です。お好きな色から季節感のある作品を作り、基本から応用のつまみ方まで学べます。作品はフレームに入れてインテリアとしても楽しめます。講師はつつき認定講師の阪井鞠子さん(写真)です。

4月27日「マイカレット」▽5月25日「紫陽花」▽6月22日「丸ガリア」。いずれも木曜午前10時30分〜午後0時30分。1万4190円(3回分、教材費含む)。

古典型的なつまみ方をアレンジした、つつき流の技法です。お好きな色から季節感のある作品を作り、基本から応用のつまみ方まで学べます。作品はフレームに入れてインテリアとしても楽しめます。講師はつつき認定講師の阪井鞠子さん(写真)です。

4月27日「マイカレット」▽5月25日「紫陽花」▽6月22日「丸ガリア」。いずれも木曜午前10時30分〜午後0時30分。1万4190円(3回分、教材費含む)。

4月27日「マイカレット」▽5月25日「紫陽花」▽6月22日「丸ガリア」。いずれも木曜午前10時30分〜午後0時30分。1万4190円(3回分、教材費含む)。

4月27日「マイカレット」▽5月25日「紫陽花」▽6月22日「丸ガリア」。いずれも木曜午前10時30分〜午後0時30分。1万4190円(3回分、教材費含む)。

4月27日「マイカレット」▽5月25日「紫陽花」▽6月22日「丸ガリア」。いずれも木曜午前10時30分〜午後0時30分。1万4190円(3回分、教材費含む)。

4月27日「マイカレット」▽5月25日「紫陽花」▽6月22日「丸ガリア」。いずれも木曜午前10時30分〜午後0時30分。1万4190円(3回分、教材費含む)。

4月27日「マイカレット」▽5月25日「紫陽花」▽6月22日「丸ガリア」。いずれも木曜午前10時30分〜午後0時30分。1万4190円(3回分、教材費含む)。

4月27日「マイカレット」▽5月25日「紫陽花」▽6月22日「丸ガリア」。いずれも木曜午前10時30分〜午後0時30分。1万4190円(3回分、教材費含む)。

本部 読売新聞大阪本社  
06-6361-3325

受付時間 ■電話 ▶月〜金の午前10時〜午後5時(土日祝休み) ■ファクス (06-6361-3327) ■メール(honbu@oybc.co.jp)

高槻 松坂屋高槻店6階  
072-681-8218

受付時間 ■電話 ▶月〜土の午前10時〜午後8時 ▶日曜午前10時〜午後6時 ■メール(takatuki@oybc.co.jp)

■講座によっては校費などが必要な場合もあります。  
■希望者が一定数に達しない講座は開設を見送ることがあります。